



仲村ひであき 県議会ニュース

vol.3 2018年春【発行】千葉県議会議員 仲村秀明

仲村ひであきが一般質問に立ちました。

(公明党千葉県議会議員団)

平成30年2月定例議会では議案100件、発議1件が可決されました。
総合計画策定後、初めての通年予算となる平成30年度当初予算が確定。景気回復
傾向を背景に予算規模は1兆7,288億円と5年連続で過去最大の規模となりました。
議会での仲村秀明の質問をダイジェストで紹介します。
(詳しくは千葉県議会ホームページをご覧ください)



「心のバリアフリー」の推進を 千葉県でも導入されたヘルプマークの推進を求めました。

ヘルプマークは、障害等により支援や配慮を必要としていることが外見からは分からない方が、周囲の人に支援等を必要としていることを知らせるためのマークです。県では昨年、ヘルプマークが記載された「ヘルプカード」を作成し各市町村、県健康福祉センター窓口等で対象者の方へ配布しました。しかし個人情報に記載されている「ヘルプカード」を常に見える所に携帯することに抵抗があるとの声を受け、より携帯に適している「ストラップ型のヘルプマーク」も導入すべきと訴えました。県からはカードとの併用を前提とした効果的な使用方法について検証していくとの答弁がありました。こうした取り組みは支援する側の認識が大切ですので、併せて更なるマークの周知を要望しました。



ヘルプカード



ヘルプマーク

国民健康保険、県の更なる努力を求め 保険者努力支援制度、全国44位の現状の改善を求めました。

国民健康保険は現在市町村運営となっていますが、保険財政の健全化を目的として本年4月以降は都道府県が財政運営の責任主体として新たに加わります。この際、保険者努力支援制度（医療費の適正化や保険財政の改善に向けての積極的な取り組みを点数化し、それに応じて国からの交付金を配分する制度）が導入されます。今回の質問で保険者努力支援制度における本県の評価順位が全国44位と非常に低いことが明らかになりました。県に今後の対応を問うと、被保険者の健康づくり、医療費の適正化、国保財政の健全化等に向けた取り組みを進め、配分アップを図るとの答弁がありました。



ちばGAPを知っていますか？ 農業者及び消費者のGAP理解促進を

今後どのようにちばGAPを拡大していくのかとの問いに対し県からは、手引書の作成とともに生産記録簿の様式を県ホームページから利用できるようにする等で拡大に努めるとの答弁がありました。私からはGAPに取り組む際の負担軽減に資するICT技術（アプリを使った生産管理等）導入についても支援して頂くよう要望しました。また、ちばGAPの消費者へのPRも要望しました。

GAP・・・農業において、食品安全、環境保全、労働安全等の持続可能性を確保するための生産工程管理の取り組みのこと。
(千葉県ではちばGAP制度を構築し、拡大を図っており、本年2月はじめて15の個人や団体がちばGAPの認証を受けた)



がん教育の推進を

学校でのがん教育の更なる推進と外部講師の活用

Q 県のがん教育への取り組みは？

A 医師会等の協力のもと外部講師を活用したがん教育の充実に努める。

【要望】正しい知識を学ぶことで、子供たちが命の大切さについて考えることができるだけでなく、がんの授業を受けた子供が保護者に対してがん検診を勧めることで、検診受診率の向上も期待できるので、がん教育の更なる推進を要望する。



災害時におけるペットとの同行避難

避難所の整備と飼い主の日頃の備えについて

Q ペットの同行避難について、県の対応は？

A 今年度ペットの防災対策にかかる避難所運営についての机上演習を、市町村職員を対象として実施予定。また、市町村が実施する避難訓練についてもペットの同行避難を想定した実施方法等について助言する。

【要望】避難所におけるトラブルを防ぐ為、飼い主は災害に備え普段からペットのためのフードや水・薬等の備蓄、決められた場所での排泄などのしつけといった準備をすることが必要との事。周知啓発に更に力を入れるよう要望する。



就職氷河期世代の就労支援

40代前半の無業者、不安定就労者への対策を急げ!

Q 就職氷河期世代の無業者、不安定就労者は、就職できなかったり、非正規雇用の期間が長期にわたる事が原因で能力開発の機会やキャリア形成が不十分である。この年代に対して即戦力と年相応の経験を求めている企業との間にギャップが生じ、うまく就労につながらないケースがある。県の対策は？

A 「ジョブカフェちば」では、支援の対象年齢を引き上げて、現在国と連携して就職氷河期を主な対象としたキャリア分析やカウンセリングを実施。今後とも国の施策動向を注視するとともに、企業や求職者のニーズを踏まえて、支援に取り組んでいく。

【要望】更なる就労支援の強化を要望する。



治水対策を急げ!

飯山満川の河川整備事業の早期完成を!

Q 飯山満川の河川整備の進捗状況と今後の取り組みは？

A 今年度は飯山満地区土地区画整理事業の区域内700メートル区間において、護岸整備及び2号調節池の遮水工事を実施しており、約480メートルの河道が完成。引き続き護岸整備を進めるとともに、2号調節池の平成31年度までの完成を目指し、事業の進捗を図る。

【要望】雄鹿野地区付近の相川橋の桁下にあるコンクリート堰の撤去を要望する。



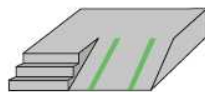
国道14号の船橋宮本地先の交差点

早急な改良の実現を!

Q 歩道橋と船橋競馬場駅の一体化及びエレベーターの設置による更なるバリアフリー化を含めた交差点改良の進捗は？

A 現在、計画区間670メートルのうち約270メートルの歩道拡幅が完了している。横断歩道の移設については、船橋市や鉄道事業者と協議を行いながら詳細設計を進めている。

【要望】県がイニシアチブを發揮し早期に交差点改良が実現するよう要望する。



皆様の声の実現

(新年度予算から)

公明党は、県民相談等で頂いた皆様を中心に様々な政策要望をしています。新年度予算にもそうした公明党の要望が数多く反映されています。成果のうちの主なものを御報告します。

認知症対策の充実

認知症の早期発見・早期対応に向け本人や家族が認知症に気づききっかけの一助とするために、認知症チェックリストの作成・配布をします。

地域防災力の向上

沿岸地域の住民や観光客の安全かつ迅速な避難行動を支援するため千葉県沖から北海道沖の海底に敷設した地震・津波計(S-net)で観測したデータを活用した「千葉県津波浸水予測システム」を新たに整備します。

東京湾漁業の対策

東京湾沿岸の漁協等が実施する水産施設整備等の事業に対して助成します。また、ノリ養殖新技術開発や貧酸素水塊対策調査を行います。

駅の安全性向上

鉄道駅を、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全で快適に利用できるよう、エレベーターやホームドアの設置に対する補助について予算を増額し、整備を促進します。ホームドア(2駅増)

いじめ・不登校対策の推進

いじめ・不登校の未然防止、早期発見、解決に向け、スクールカウンセラー及びスクールソーシャルワーカーを増員します。また、新たに不登校対策支援チームを設置するなど、児童生徒が安心して学校生活を送る事ができる環境づくりを進めます。

スクールカウンセラーの配置拡充
(小学校 140人→150人)

スクールソーシャルワーカーの配置拡充
(小中学校 12人→15人)
(高等学校 7人)



医療的ケア児支援

低体重や先天性の難病などを抱える新生児は近年増加傾向にあり、支援充実のため医療的ケア児等の全数実態調査を行います。



プロフィール

なかむら ひであき
仲村 秀明

昭和44年7月2日生まれ 千葉県出身

千葉県議会議員(船橋市選出、1期)。公明党千葉県議会議員団所属。商工労働企業常任委員会、千葉県国土利用計画地方審議会委員。船橋市芝山在住。仲村ひであきの議会活動は、ブログ、フェイスブックでも発信しています

県政についてのご意見をお寄せ下さい

[FAX] 047-409-0265

[メールアドレス] info@nakamura.chiba.jp

[HP] http://nakamura.chiba.jp